

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

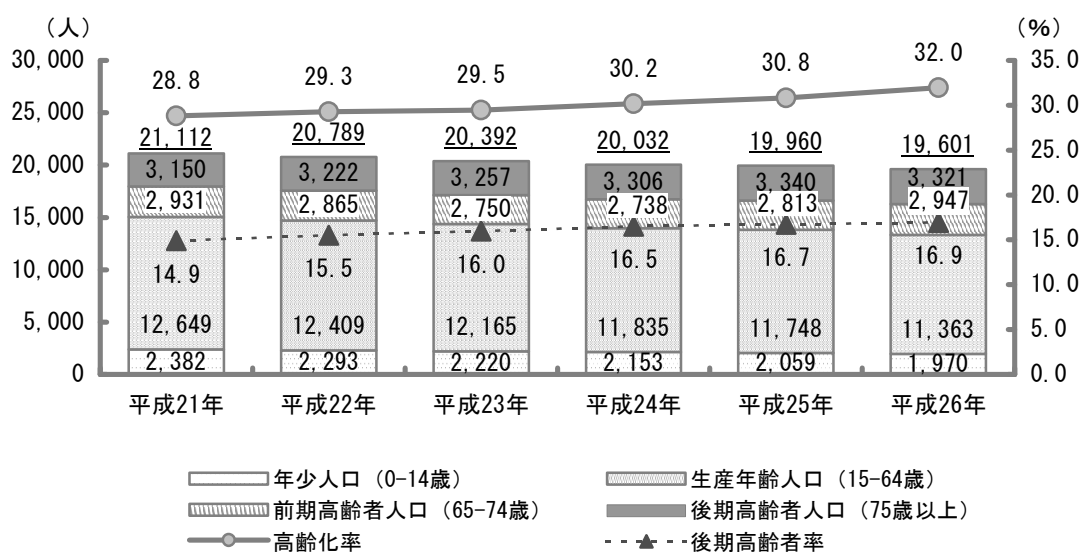
1 町の高齢者を取り巻く現状

(1) 総人口および高齢者人口の推移 ●●●●●●●●●●

総人口は、平成21年の21,112人に対して平成26年では19,601人と7.2%の減少となっており、高齢者人口は平成21年の6,081人に対して平成26年では6,268人と3.1%の微増となっています。後期高齢者人口は、平成21年に対して平成26年では5.4%の増加となっています。

高齢化率は、平成21年の28.8%に対して平成26年では32.0%と3.2ポイントの増加となっています。平成26年の全国の高齢化率25.6%（人口推計）と比較すると、南知多町の高齢化率はかなり高いことがわかります。

図 人口の推移



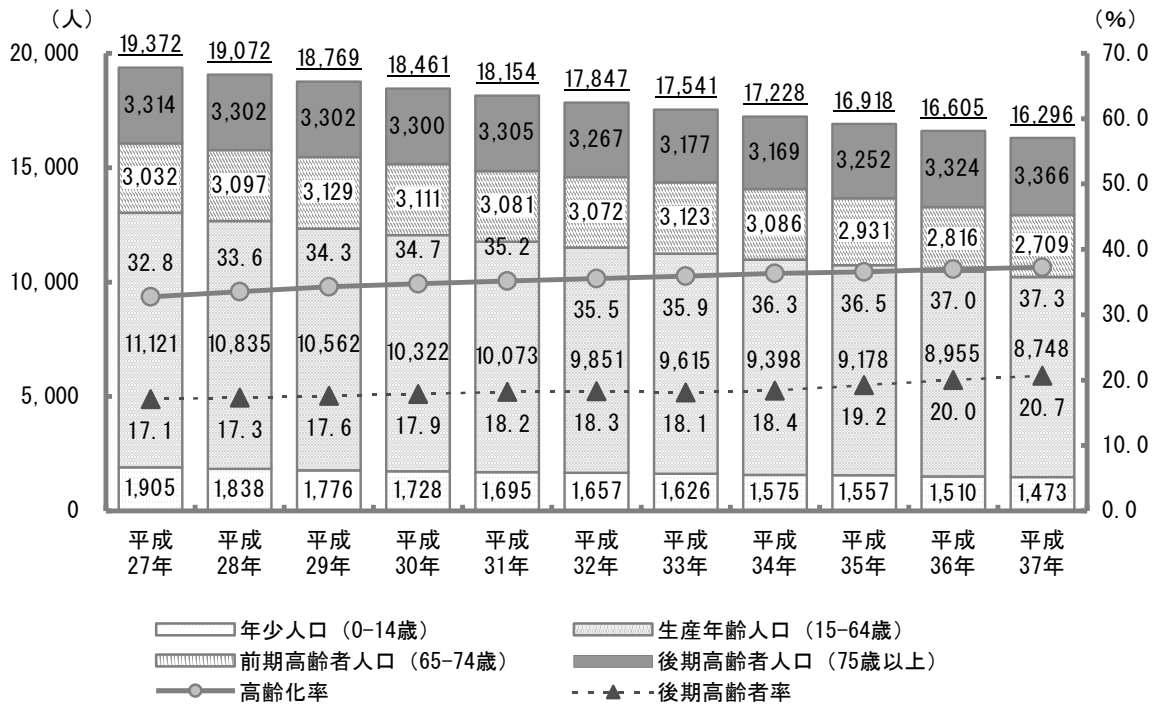
資料：住民基本台帳（各年3月末日現在）

(2)

将来人口の推移

将来人口は、第6期計画の指標とする平成37年で、総人口は16,296人と推計され、そのうち高齢者人口は、6,075人で、平成27年の6,346人に対し4.3%減少すると推計されています。総人口は年々減少し、高齢者人口は平成29年をピークに減少すると推計されています。後期高齢者人口は平成34年まで減少傾向となりますが、平成35年以降は増加すると推計されています。

図 将来人口の推移



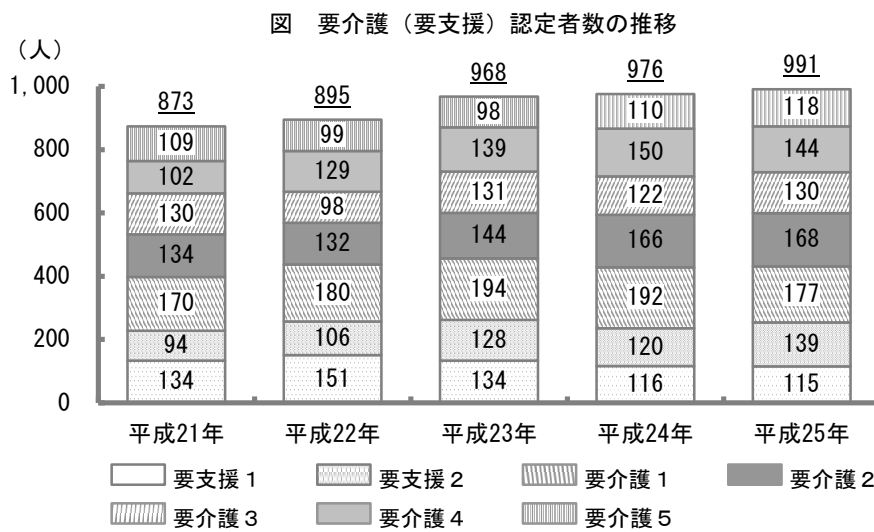
資料：住民基本台帳（各年3月末日現在）を元に推計



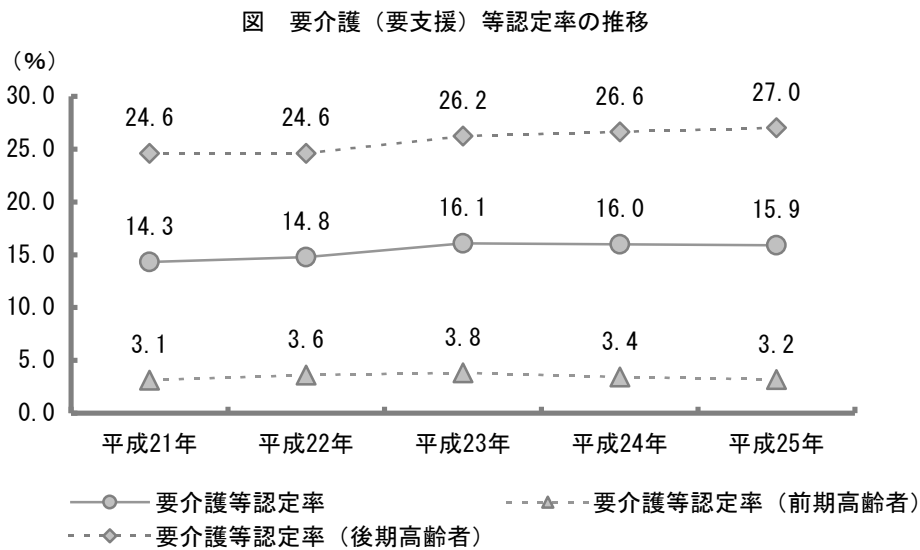
(3) 要介護（要支援）認定者数、認定率の推移 ●●●●●●

要介護（要支援）認定者数の推移をみると、認定者総数が増加しており、平成25年では991人、5年で1.14倍となっています。要介護（要支援）別にみると、要支援2、要介護2、要介護4が特に増加しており、それぞれ1.48倍、1.25倍、1.41倍となっています。

要介護等認定率をみると、平成25年では15.9%となっており、平成21年と比較すると1.6ポイント増加しています。



資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月末現在）

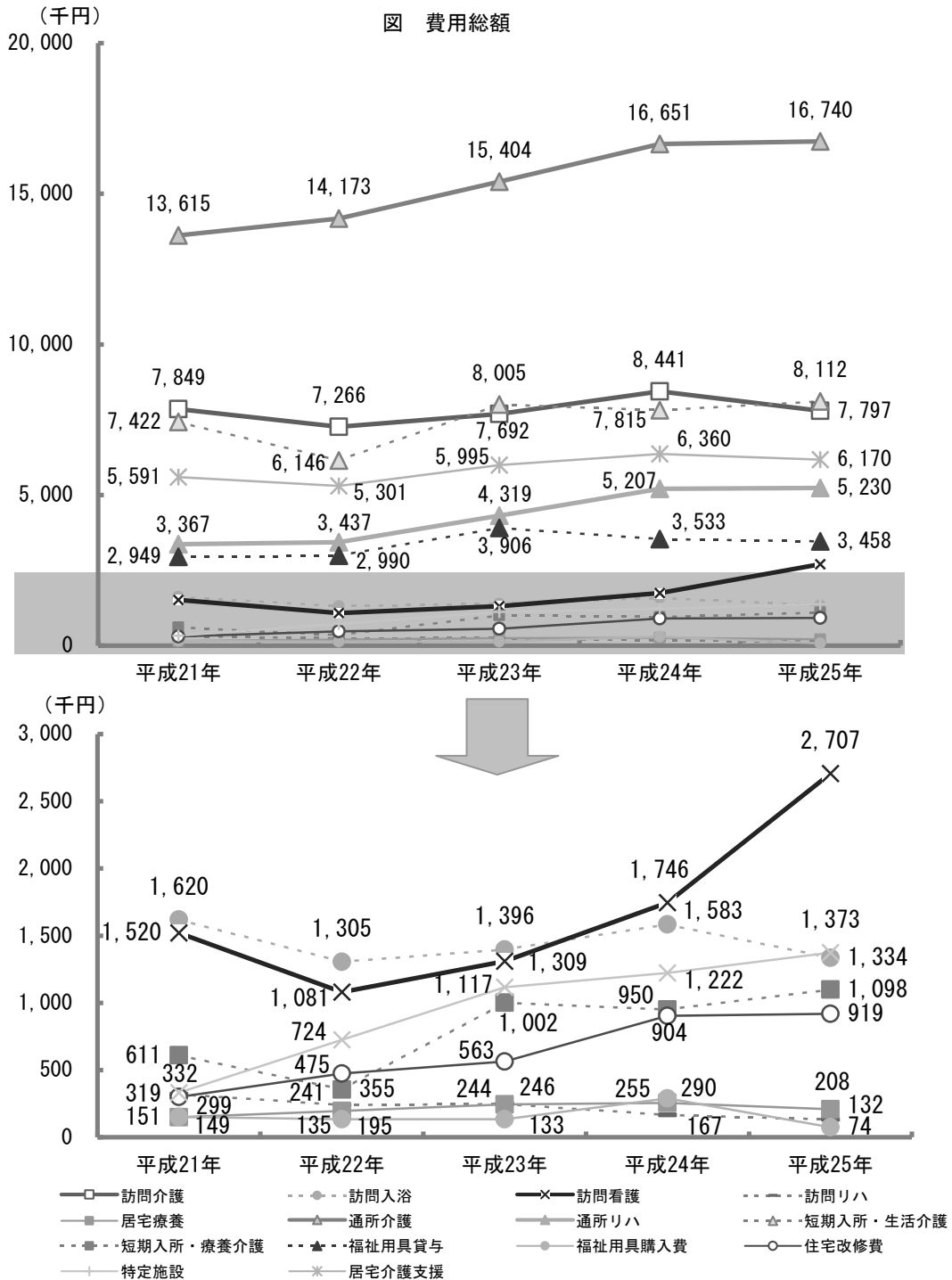


資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月末現在）



(4) 在宅サービスの介護給付の費用額の経年変化 ●●●●●

平成25年における在宅サービスの介護給付の費用総額は、通所介護で最も高く16,740千円となっています。また、通所介護では年々高くなっており平成21年と比較すると平成25年では1.23倍となっています。訪問看護では平成23年から急激に高くなっていきます。



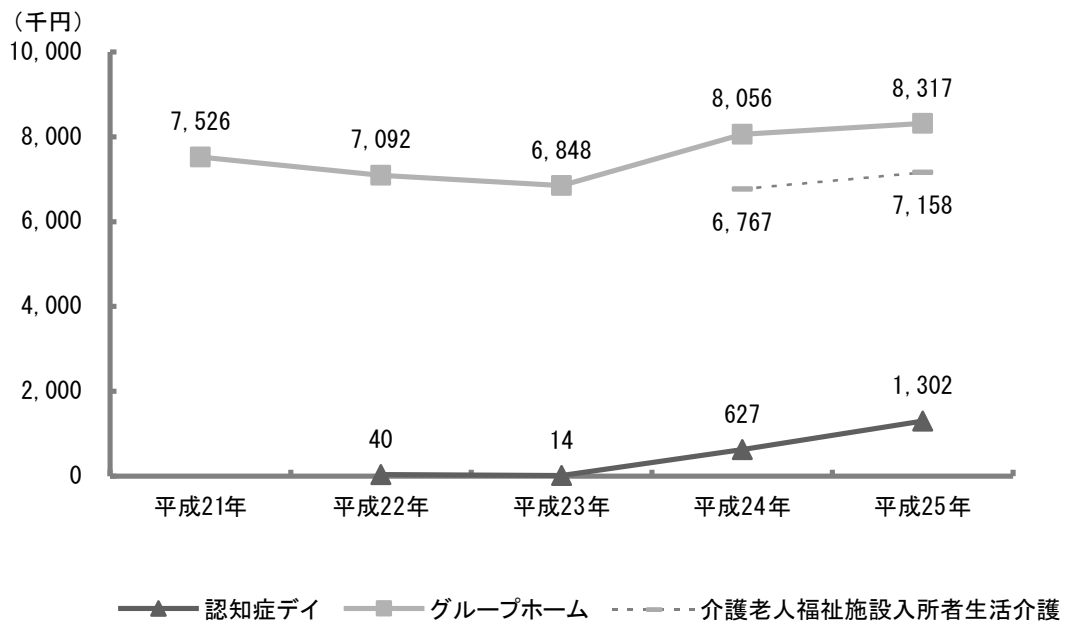
資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月サービス分）



(5) 地域密着型サービスの介護給付の費用額の経年変化 ●●

平成25年における地域密着型サービスの介護給付の費用総額は、グループホームで最も高く8,317千円となっており、次いで介護老人福祉施設入所者生活介護が7,158千円となっています。認知症デイでは平成24年から1施設開所により高くなっています。

図 費用総額

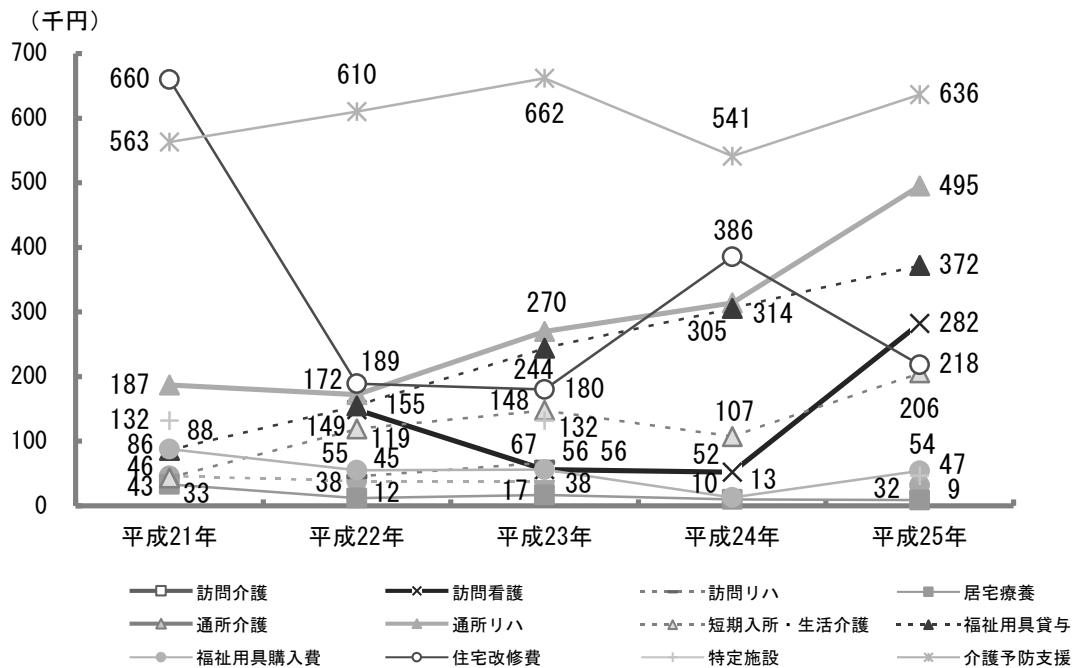
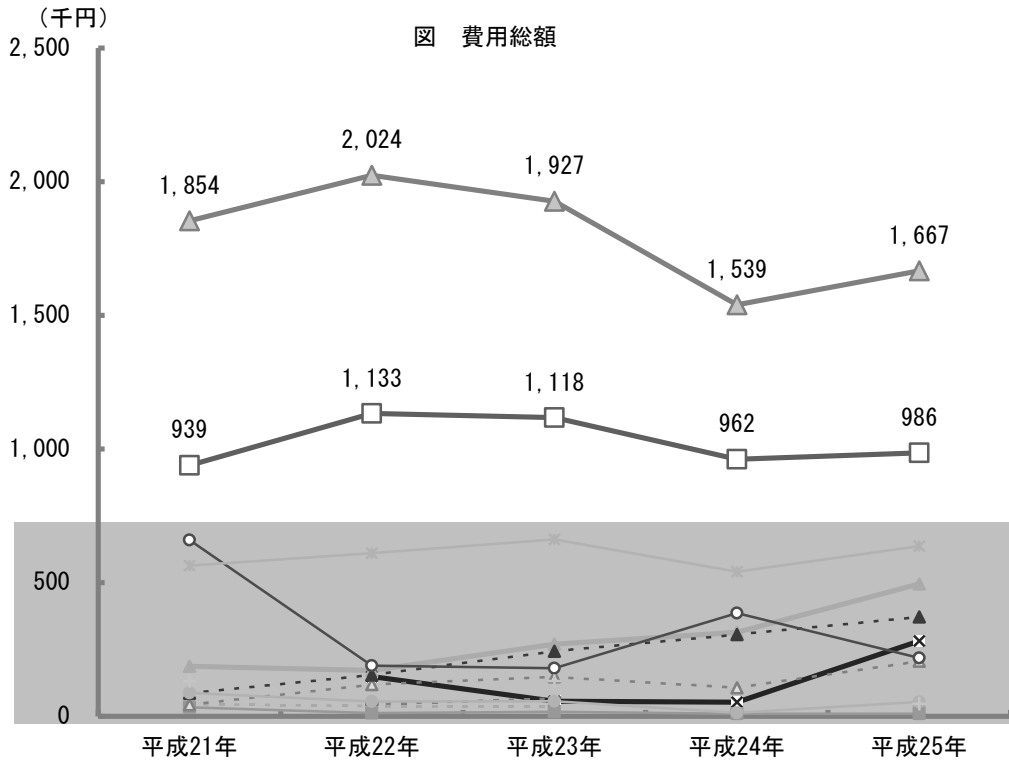


資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月サービス分）



(6) 在宅サービスの予防給付の費用額の経年変化 ●●●●●

平成25年における在宅サービスにおける予防給付の費用総額は、通所介護が最も高く1,667千円、次いで訪問介護が986千円となっています。



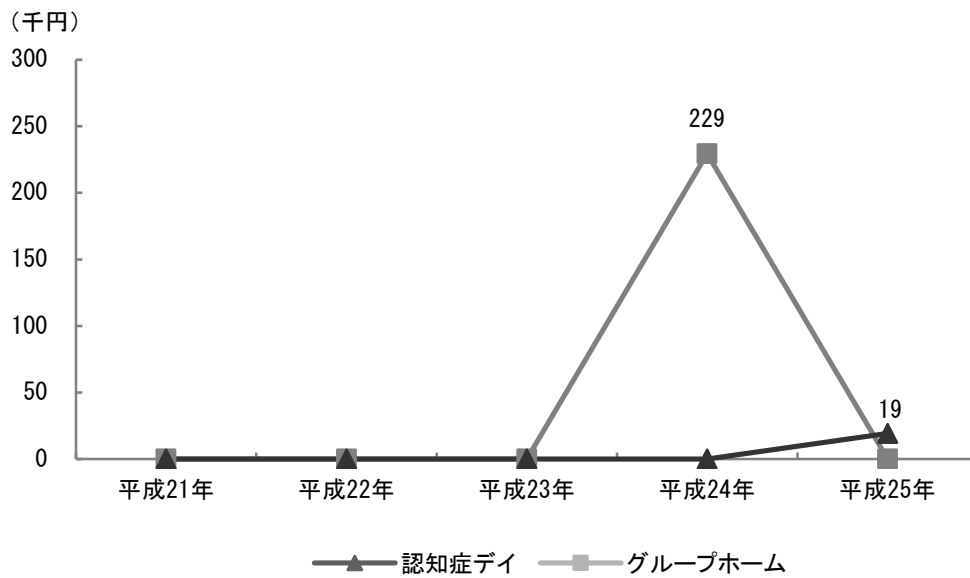
資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月サービス分）



(7) 地域密着型サービスの予防給付の費用額の経年変化 ●●

地域密着型サービスの予防給付は、認知症デイは平成 25 年で 19 千円、グループホームは平成 24 年で 229 千円の利用となっています。

図 費用総額



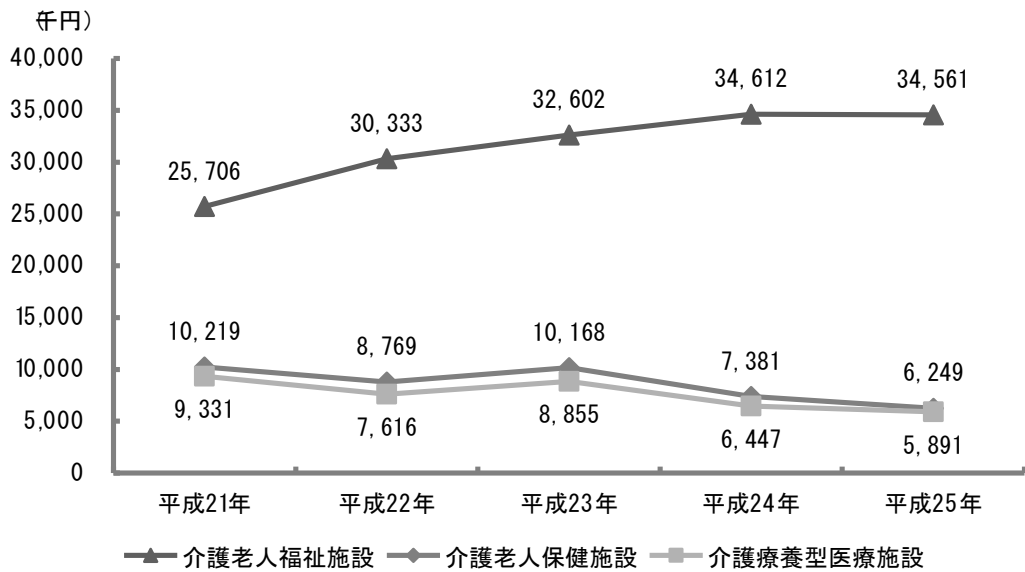
資料：介護保険事業状況報告 月報（各年 10 月サービス分）



(8) 施設サービスの費用額の経年変化 ●●●●●●●●●●

平成25年における施設サービスの費用総額は、介護老人福祉施設で最も高く34,561千円、次いで介護老人保健施設が6,249千円となっています。介護老人福祉施設では平成21年から平成24年にかけて年々高くなっています。一方、介護老人保健施設、介護療養型医療施設では平成23年から低くなっています。

図 費用総額



資料：介護保険事業状況報告 月報（各年10月サービス分）



(9)

第5期計画の計画値と実績値の比較 ●●●●●●●●●●

第5期計画の計画値と実績値の比較をみると、介護サービスでは、介護給付費計で平成24年度、平成25年度ともに実績値が計画値をやや下回っており、それぞれ比率が0.97、0.95となっています。

介護サービスの内訳をみると、訪問看護、通所リハビリテーション等の医療系サービスで平成24年度、平成25年度ともに実績値が計画値を上回っています。平成25年度と平成24年度の実績値の比率をみると、認知症対応型通所介護、地域密着型老人福祉施設入所者生活介護、訪問看護で高くなっています。

介護予防サービスでは、予防給付費計で平成24年度、平成25年度ともに実績値が計画値を下回っており、それぞれ比率が0.83、0.78となっています。

介護予防サービスの内訳をみると、介護予防通所リハビリテーション、介護予防福祉用具貸与などで平成24年度、平成25年度ともに実績値が計画値を上回っています。さらに、介護予防訪問看護では平成25年度で実績値が計画値を上回っています。平成25年度と平成24年度の実績値の比率をみると、介護予防訪問入浴介護、介護予防認知症対応型通所介護、介護予防通所リハビリテーション、介護予防福祉用具貸与などで高くなっています。

表 第5期計画の計画値と実績の比較(介護サービス)

単位(千円)

サービス	平成24年度			平成25年度			24→25 の増減率
	計画	実績	比率	計画	実績	比率	
居宅サービス	484,465	540,189	1.12	524,637	561,490	1.07	1.04
訪問介護	87,430	95,686	1.09	94,794	88,752	0.94	0.93
訪問入浴介護	15,868	17,027	1.07	17,211	15,730	0.91	0.92
訪問看護	13,124	17,086	1.30	14,226	23,398	1.64	1.37
訪問リハビリテーション	2,766	1,590	0.57	2,999	1,570	0.52	0.99
居宅療養管理指導	2,443	2,684	1.10	2,647	2,921	1.10	1.09
通所介護	165,129	193,151	1.17	179,005	198,155	1.11	1.03
通所リハビリテーション	47,537	58,831	1.24	51,529	60,625	1.18	1.03
短期入所生活介護	87,399	87,113	1.00	94,720	98,900	1.04	1.14
短期入所療養介護	8,140	9,067	1.11	8,825	9,366	1.06	1.03
特定施設入居者生活介護	13,347	14,176	1.06	13,920	17,642	1.27	1.24
福祉用具貸与	37,830	41,632	1.10	41,019	42,464	1.04	1.02
特定福祉用具購入	3,452	2,146	0.62	3,742	1,967	0.53	0.92
地域密着型サービス	213,283	151,693	0.71	232,661	199,017	0.86	1.31
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	0	0	-	0	0	-	-
夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-	-
認知症対応型通所介護	31,600	7,764	0.25	34,263	15,271	0.45	1.97
小規模多機能型居宅 介護	0	0	-	0	0	-	-
認知症対応型共同生活 介護	111,213	84,926	0.76	114,854	97,816	0.85	1.15
地域密着型特定施設 入居者生活介護	0	0	-	0	0	-	-
地域密着型老人福祉 施設入所者生活介護	70,470	59,003	0.84	83,544	85,930	1.03	1.46
複合型サービス	0	0	-	0	0	-	-
住宅改修	9,682	6,841	0.71	10,500	6,294	0.60	0.92
居宅介護支援	74,788	74,286	0.99	81,115	73,022	0.90	0.98
介護保険施設サービス	623,860	584,427	0.94	623,860	554,782	0.89	0.95
介護老人福祉施設	403,628	393,757	0.98	403,628	405,465	1.00	1.03
介護老人保健施設	116,926	103,340	0.88	116,926	88,015	0.75	0.85
介護療養型医療施設	103,306	87,330	0.85	103,306	61,302	0.59	0.70
介護給付費計	1,406,078	1,357,436	0.97	1,472,773	1,394,605	0.95	1.03

※単位未満は四捨五入により端数処理しています。

資料：南知多町高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画、介護保険事業状況報告年報

表 第5期計画の計画値と実績の比較(介護予防サービス)

単位(千円)

サービス	平成24年度			平成25年度			24→25の 増減率
	計画	実績	比較	計画	実績	比較	
介護予防サービス	48,438	41,633	0.86	53,311	45,384	0.85	1.09
介護予防訪問介護	13,868	12,173	0.88	15,263	12,116	0.79	1.00
介護予防訪問入浴介護	408	88	0.22	449	431	0.96	4.91
介護予防訪問看護	939	855	0.91	1,033	2,048	1.98	2.39
介護予防訪問リハビリテーション	849	0	-	934	0	-	-
介護予防在宅療養管理指導	251	123	0.49	276	82	0.30	0.67
介護予防通所介護	25,228	19,600	0.78	27,766	18,494	0.67	0.94
介護予防通所リハビリテーション	2,486	3,583	1.44	2,737	5,660	2.07	1.58
介護予防短期入所生活介護	1,030	1,150	1.12	1,134	1,267	1.12	1.10
介護予防短期療養介護	0	0	-	0	0	-	-
介護予防特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	558	-	-
介護予防福祉用具貸与	2,585	3,519	1.36	2,845	4,318	1.52	1.23
特定介護予防福祉用具購入	794	542	0.68	874	410	0.47	0.76
地域密着型介護予防サービス	3,499	2,712	0.77	3,573	559	0.16	0.21
介護予防認知症対応型通所介護	734	333	0.45	808	559	0.69	1.68
介護予防小規模多機能型居宅介護	0	0	-	0	0	-	-
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,765	2,379	0.86	2,765	0	-	-
住宅改修	3,788	3,158	0.83	4,170	2,748	0.66	0.87
介護予防支援	9,183	6,691	0.73	10,108	7,002	0.69	1.05
予防給付費計	64,908	54,194	0.83	71,162	55,693	0.78	1.03

※単位未満は四捨五入により端数処理しています。

資料：南知多町高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画、介護保険事業状況報告年報

2 介護予防事業基礎調査結果

(1)

調査実施の概要

調査対象：平成 25 年 4 月 1 日時点で 65 歳以上の要介護認定を受けていない男女

対象数：5,043 人

調査方法：郵送法

調査期間：平成 25 年 10 月 1 日～10 月 21 日

回収結果（回収率）：3,407 人（67.6%）

【 第 1 期自治体について 】

本調査プロジェクトは、25 介護保険者 30 市町村が参加し、10 月 1 日～12 月 2 日の調査期間を 3 分割して実施されました。10 月 1 日～10 月 21 日に調査を実施した保険者は、大雪広域連合（北海道）、常滑市、武豊町、美浜町、南知多町（愛知県）、中央市、早川町（山梨県）、十津川村（奈良県）、松浦市（長崎県）の 9 保険者で、これらを「第 1 期自治体」と表記しています。

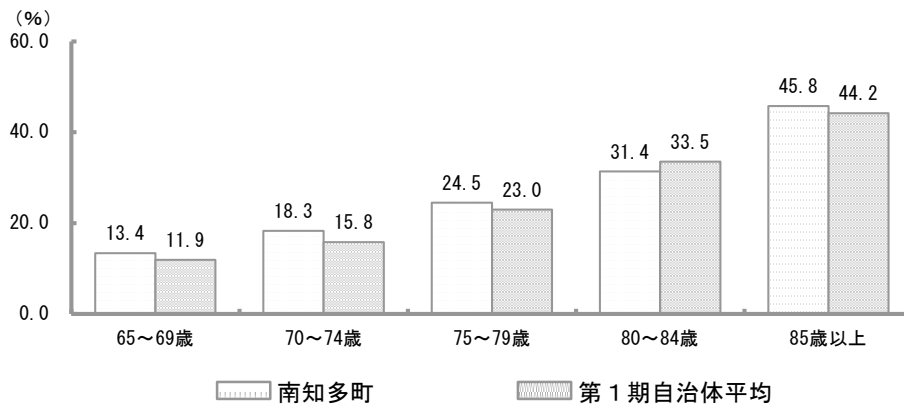
(2)

調査実施の概要

① 運動器機能低下の割合

南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「運動器機能低下」に該当する者の割合は、“80～84歳”で低くなっていますが、“65～69歳”、“70～74歳”、“75～79歳”、“85歳以上”ではやや高く、“75～79歳”では高くなっています。

図 運動器機能低下の割合



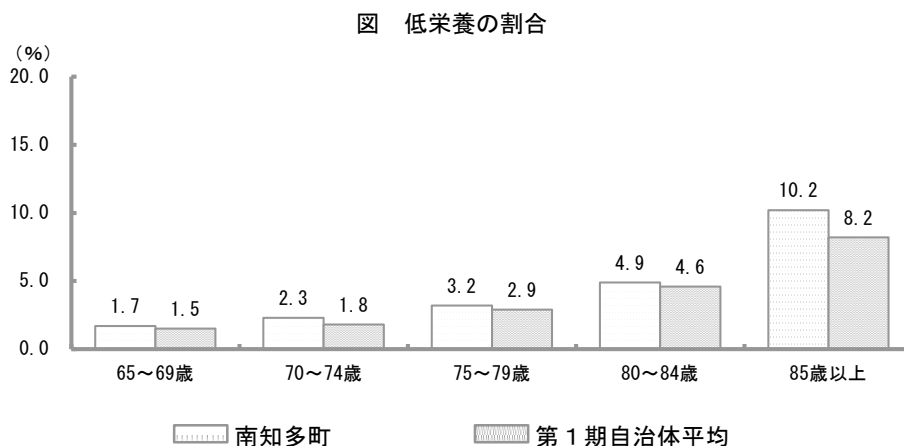
※ 「運動器機能低下」は以下の5項目のうち3つ以上該当。

- ① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
- ② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。
- ③ 15分位続けて歩いていますか。
- ④ この1年間に転んだことがありますか。
- ⑤ 転倒に対する不安は大きいですか。

② 低栄養の割合

南知多町と第1期自治体平均と比較してみると、「低栄養」に該当する者の割合は、すべての年齢でやや高くなっています。

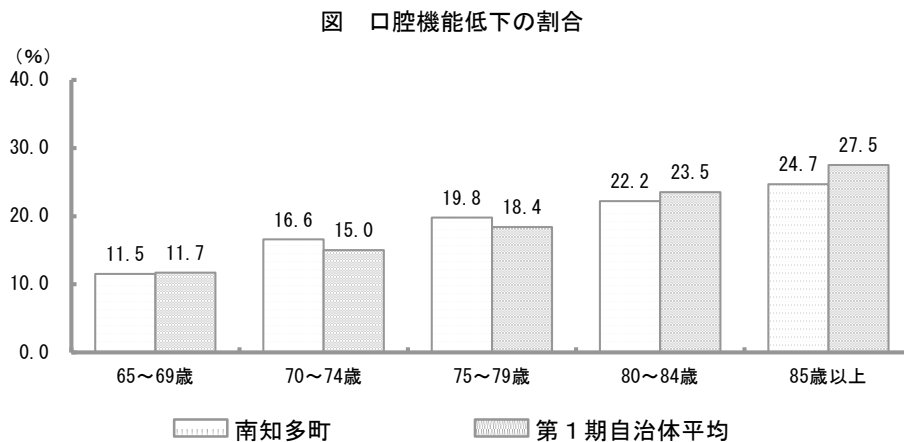
設問の「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」で「はい」、BMIが18.5未満の両方に該当する人が「低栄養」のリスクがあると判定します。



- ※「低栄養」は以下の2項目のうち2つに該当。
① 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。
② BMIが18.5未満。

③ 口腔機能低下の割合

南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「口腔機能低下」に該当する者の割合は、“70～74歳”でやや高く、“80～84歳”でやや低く、“85歳以上”で低くなっています。

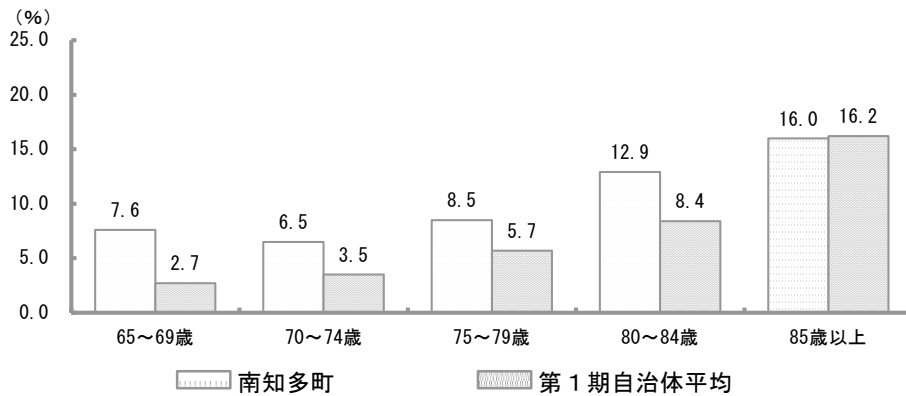


- ※「口腔機能低下」は以下の3項目のうち2つに該当。
① 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
② お茶や汁物等でむせることがありますか。
③ 口の渇きが気になりますか。

④ 閉じこもりの割合

南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「閉じこもり」に該当する者の割合は“65～69歳”から“80～84歳”でとても高くなっています。

図 閉じこもりの割合

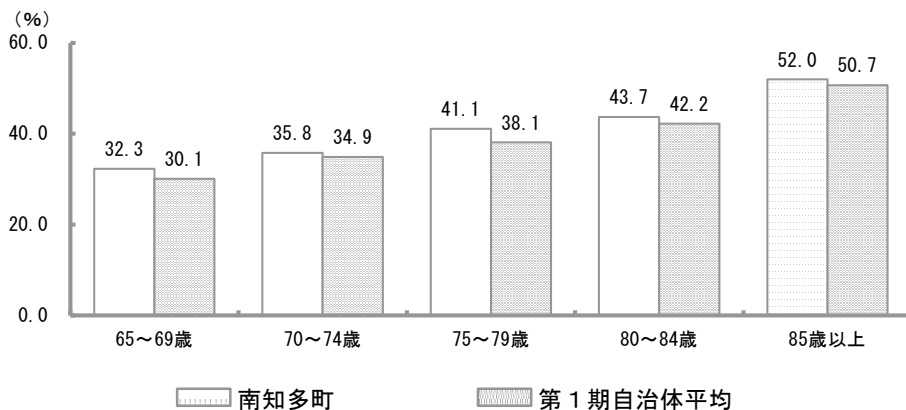


※「閉じこもり」は以下の項目に該当。
①週に1回以上は外出していますか。

⑤ 認知機能低下の割合

南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「認知機能低下」に該当する者の割合は、“65～69歳”、“75～79歳”でやや高くなっています。

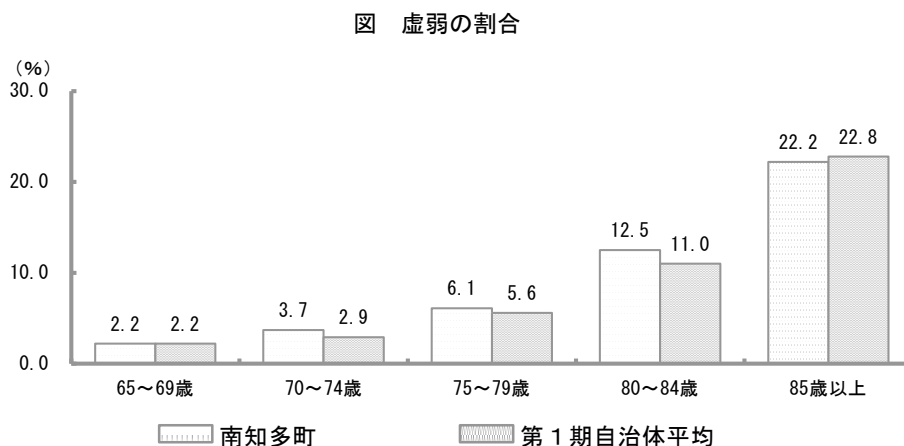
図 認知機能低下の割合



※「認知機能低下」は以下の3項目のうち1つに該当。
①周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。
②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
③今日が何月何日かわからない時がありますか。

⑥ 虚弱の割合

南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「虚弱」に該当する者の割合は“70～74歳”、“75～79歳”でやや高く、“80～84歳”で高くなっており、“85歳以上”でやや低くなっています。



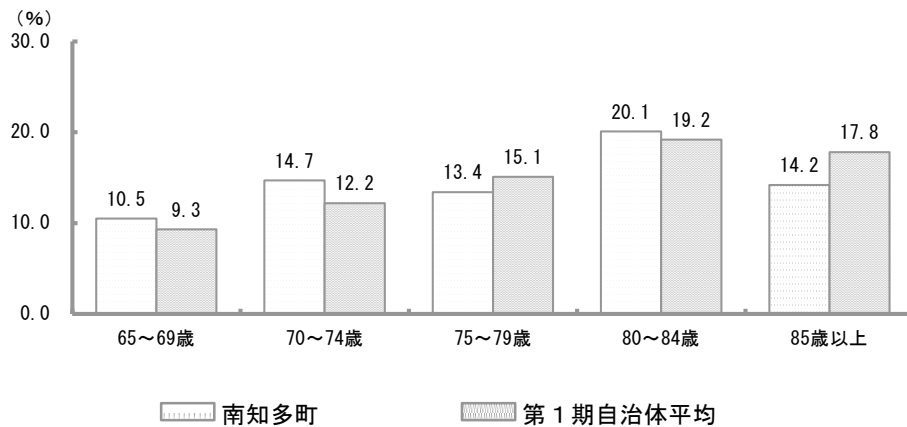
※「虚弱」は以下の20項目のうち10つに該当。

- ①バスや電車で、一人で外出していますか（自家用車でも可）。
- ②日用品の買物をしていますか
- ③預貯金の出し入れをしていますか。
- ④友人の家を訪ねていますか
- ⑤家族や友人の相談にのっていますか。
- ⑥階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
- ⑦椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。
- ⑧15分位続けて歩いていますか。
- ⑨この1年間に転んだことがありますか。
- ⑩転倒に対する不安は大きいですか。
- ⑪6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。
- ⑫BMIが18.5未満。
- ⑬半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
- ⑭お茶や汁物などでむせることがありますか。
- ⑮口の渇きが気になりますか
- ⑯週に1回以上は外出していますか。
- ⑰昨年と比べて外出の回数が減っていますか
- ⑱周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか
- ⑲自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
- ⑳今日が何月何日か分からない時がありますか

⑦ 独居者の割合

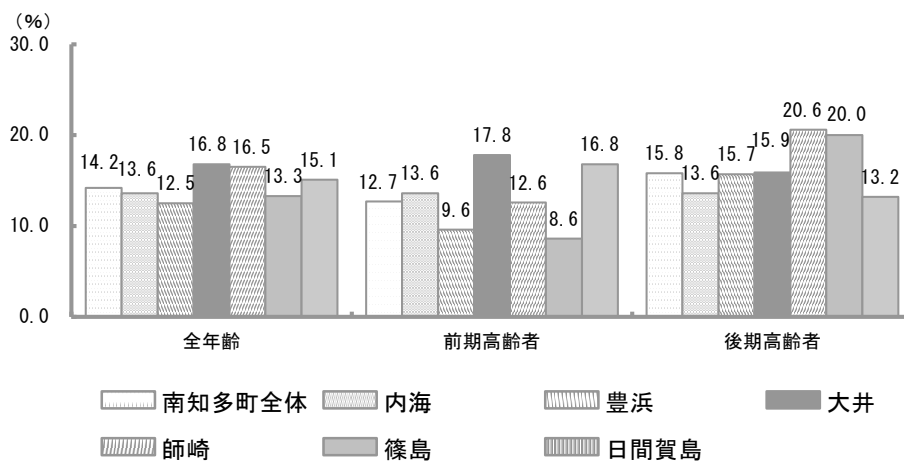
南知多町と第1期自治体平均を比較してみると、「独居者」の割合は“65～69歳”でやや高く、“70～74歳”で高くなっています。“75～79歳”ではやや低く、“85歳以上”で低くなっています。

図 独居者の割合



年代別で“南知多町全体平均よりも独居者の割合が高い地域”をみると、全年齢では「大井」と「師崎」で独居者の割合が高くなっています。前期高齢者では、「大井」、「日間賀島」で独居者の割合がとて高くなっています。また、後期高齢者では、「師崎」、「篠島」で独居者の割合がとて高くなっています。

図 年代別・地域別にみた独居者の割合



⑧ 地域別にみた介護予防ニーズ

介護予防ニーズの状況について、“南知多町全体平均よりも割合が高い地域”

○全年齢

- ・「運動器機能低下」は“豊浜”で該当者の割合がやや高くなっています。
- ・「低栄養」は“大井”、“篠島”で高くなっています。
- ・「口腔機能低下」は“日間賀島”でやや高く、“大井”、“篠島”でとても高くなっています。
- ・「閉じこもり」は“師崎”でやや高く、“篠島”、“日間賀島”でとても高くなっています。
- ・「認知機能低下」は“大井”、“師崎”、“日間賀島”でやや高くなっています。
- ・「虚弱」は、“豊浜”、“大井”でやや高く、“師崎”で高くなっています。
- ・「うつ」は“大井”、“師崎”、“日間賀島”でとても高くなっています。

○前期高齢者

- ・「運動器機能低下」は“日間賀島”でやや高くなっています。
- ・「低栄養」は、“日間賀島”でとても高くなっています。
- ・「口腔機能低下」は、“篠島”でやや高く、“師崎”で高く、“大井”でとても高くなっています。
- ・「閉じこもり」は、“篠島”、“日間賀島”でとても高くなっています。
- ・「認知機能低下」は、“師崎”、“日間賀島”でやや高くなっています。
- ・「虚弱」は“日間賀島”でやや高く、“大井”で高くなっています。
- ・「うつ」は“大井”で高く、“日間賀島”でとても高くなっています。

○後期高齢者

- ・「運動器機能低下」は“豊浜”で高くなっています。
- ・「低栄養」は“大井”と“篠島”でとても高くなっています。
- ・「口腔機能低下」は、“日間賀島”で高く、“大井”、“篠島”でとても高くなっています。
- ・「閉じこもり」は、“師崎”、“篠島”、“日間賀島”でとても高くなっています。
- ・「認知機能低下」は、“豊浜”、“篠島”でやや高く、“大井”で高くなっています。
- ・「虚弱」は、“豊浜”、“師崎”で高くなっています。
- ・「うつ」は、“日間賀島”で高く、“大井”、“師崎”、“篠島”でとても高くなっています。

表 地域別にみた介護予防ニーズ

単位：%

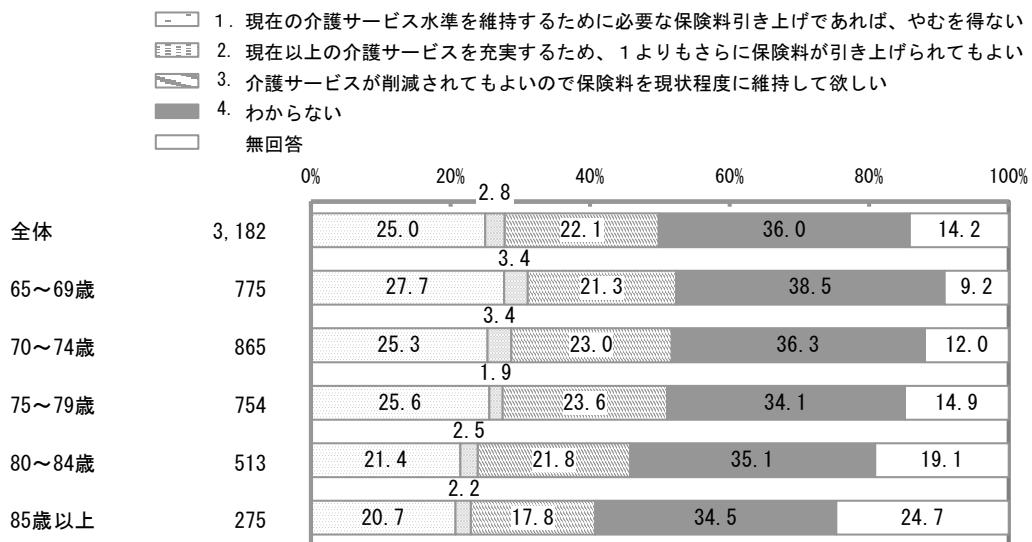
		南知多町全体	内海	豊浜	大井	師崎	篠島	日間賀島
全年齢	運動器機能低下	23.1	22.5	24.5	21.9	23.4	21.7	22.6
	低栄養	3.5	3.1	3.4	5.0	2.0	5.0	3.3
	口腔機能低下	17.7	15.3	15.7	23.6	18.5	22.5	18.7
	閉じこもり	9.1	4.7	7.3	6.3	10.0	22.1	20.0
	認知機能低下	38.9	35.7	38.9	41.5	41.1	39.6	41.3
	虚弱	6.9	5.9	7.9	7.8	8.0	4.6	6.6
	うつ	32.5	26.0	31.8	38.7	38.9	28.3	40.7
前期高齢者	運動器機能低下	16.0	15.5	15.9	16.8	15.9	15.0	17.4
	低栄養	2.0	2.2	1.5	2.0	1.0	2.1	4.3
	口腔機能低下	14.2	12.3	12.7	19.3	16.9	15.7	13.0
	閉じこもり	7.0	1.9	5.1	4.6	6.3	22.1	18.0
	認知機能低下	34.1	33.4	32.1	34.5	37.2	35.0	37.3
	虚弱	3.0	2.8	3.0	4.1	3.4	0.7	3.7
	うつ	26.1	22.0	26.3	32.0	28.0	15.0	37.3
後期高齢者	運動器機能低下	30.6	29.5	33.6	26.9	31.4	31.0	28.5
	低栄養	5.0	4.2	5.4	8.0	3.1	9.0	2.1
	口腔機能低下	21.5	18.4	18.8	27.9	20.1	32.0	25.0
	閉じこもり	11.3	7.4	9.6	8.0	13.9	22.0	22.2
	認知機能低下	43.9	38.1	46.2	48.3	45.4	46.0	45.8
	虚弱	11.1	9.0	13.0	11.4	12.9	10.0	9.7
	うつ	39.2	30.0	37.7	45.3	50.5	47.0	44.4

② 介護サービスと介護費用負担のバランスについて

介護サービスと介護費用のバランスについて聞いたところ、「現在の介護サービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」が25.0%、「現在以上の介護サービスを充実するため、1（下記参照）よりもさらに保険料が引き上げられてもよい」が2.8%、「介護サービスが削減されてもよいので保険料を現状程度に維持して欲しい」が22.1%となっている。なお、「わからない」が36.0%となっています。

年齢別にみると、「介護サービスが削減されてもよいので保険料を現状程度に維持して欲しい」は「65～69歳」でやや高くなっています。

図 介護サービスと介護費用のバランスについて

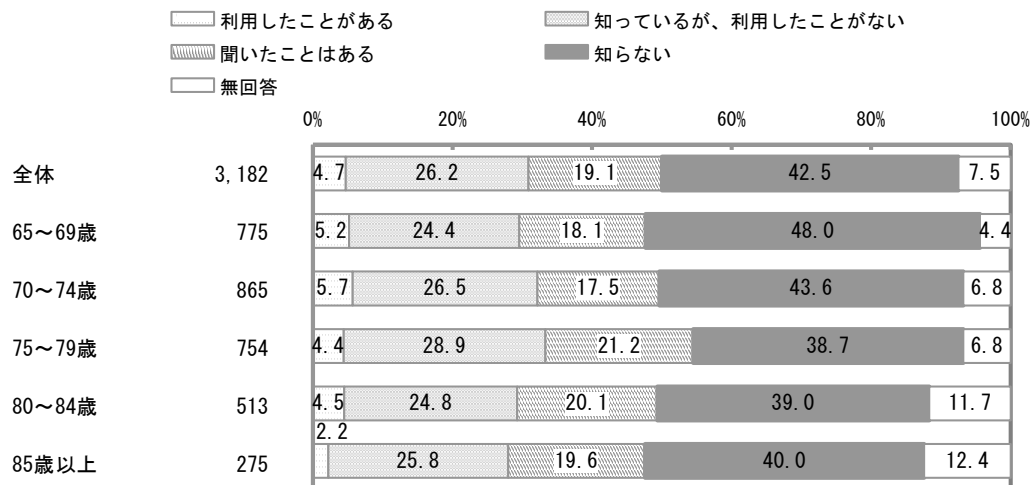


③ 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センター（高齢者あんしん相談室）の認知度については、「知らない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことがない」の割合が26.2%、「聞いたことはある」の割合が19.1%となっており、「利用したことがある」の割合は4.7%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「利用したことがある」の割合が低くなる傾向がみられます。また、“65～69歳”、“70～74歳”で「利用したことがある」の割合がやや高くなっているものの、「知らない」の割合も高くなっています。

図 地域包括支援センターの認知度

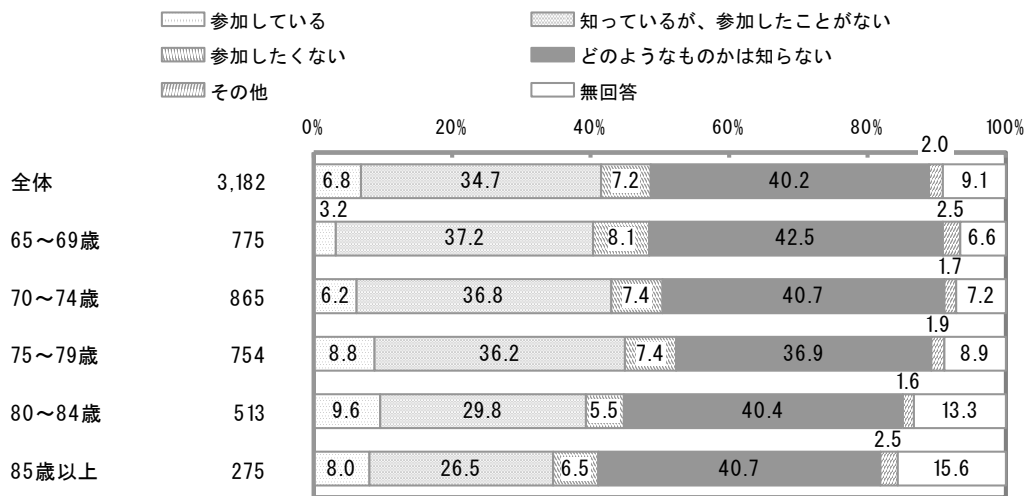


④ 高齢者サロンの認知度

「高齢者サロン」の認知度については、「どのようなものかは知らない」の割合が40.2%と最も高く、次いで「知っているが、参加したことがない」の割合が34.7%、「参加したくない」の割合が7.2%となっており、「参加している」の割合は6.8%となっています。

年齢別にみると、他の年齢に比べ、“75～79歳”から“85歳以上”で「参加している」の割合が高くなっています。

図 高齢者サロンの認知度

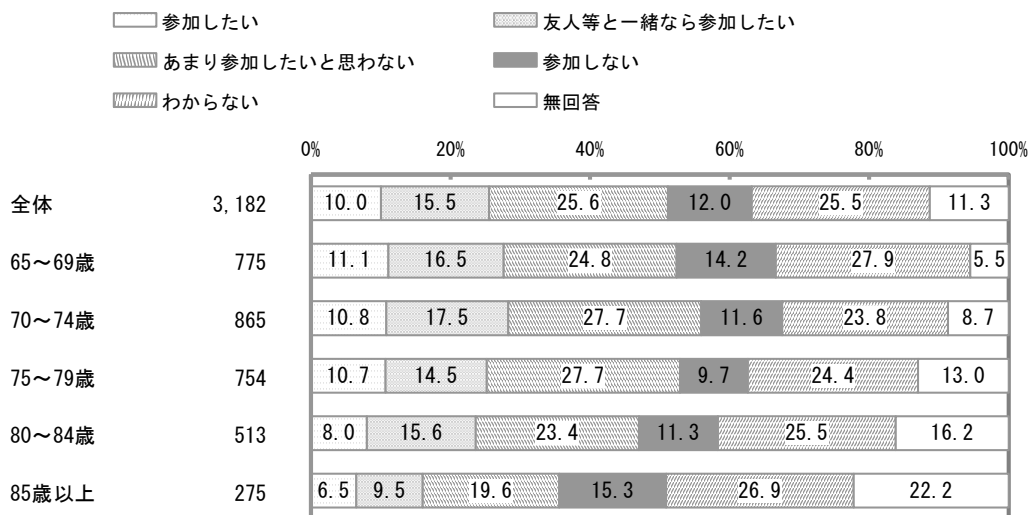


⑤ 介護予防事業への参加意向

介護予防事業への参加意向については、「参加したい」と「友人等と一緒に参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が25.5%、「あまり参加したいと思わない」と「参加しない」をあわせた“参加したくない”の割合が37.6%となっています。なお、「わからない」の割合が25.5%となっています。

年齢別にみると、他の年齢に比べ、“65～69歳”、“70～74歳”で「友人等と一緒に参加したい」の割合がやや高くなっています。

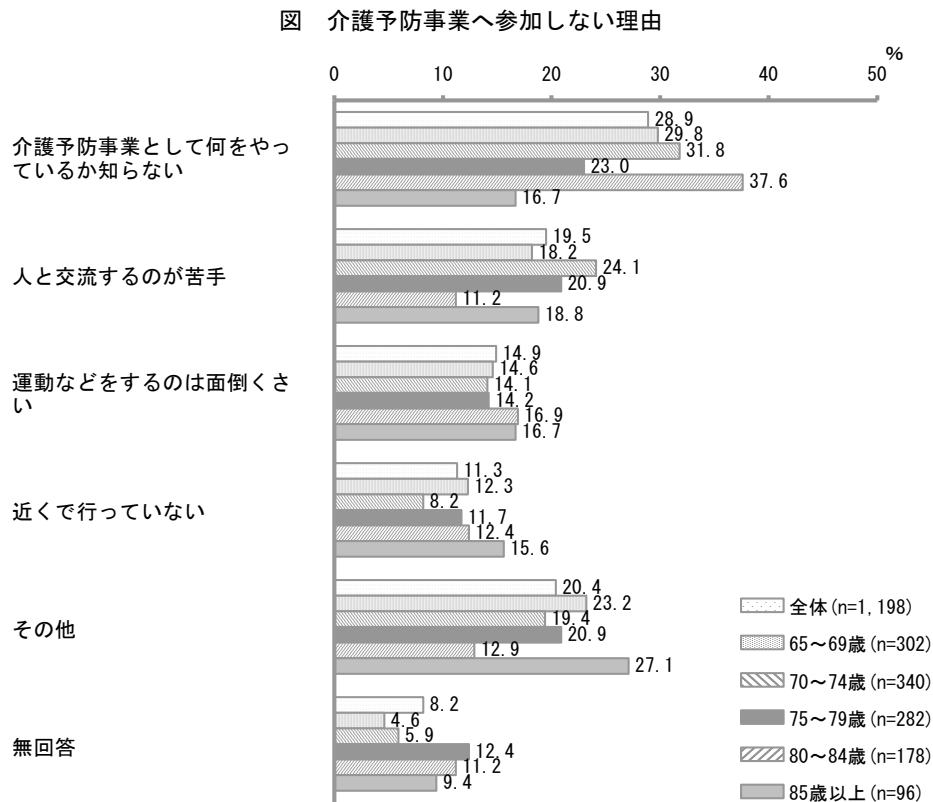
図 介護予防事業への参加意向



⑥ 介護予防事業へ参加しない理由

介護予防事業に「あまり参加したいとは思わない」、「参加しない」と答えた人(1,198人)に、その理由を挙げてもらったところ、「介護予防事業として何をやっているか知らない」(28.9%)、「人と交流するのが苦手」(19.5%)、「運動などをするのは面倒くさい」(14.9%)、「近くで行っていない」(11.3%)などが挙げられました。

年齢別にみると、「介護予防事業として何をやっているか知らない」は「80～84歳」でとても高くなっています。また、「人と交流するのが苦手」は「70～74歳」で、「運動などをするのは面倒くさい」は「80～84歳」、「85歳以上」で、「近くで行っていない」は「85歳以上」でそれぞれ高くなっています。

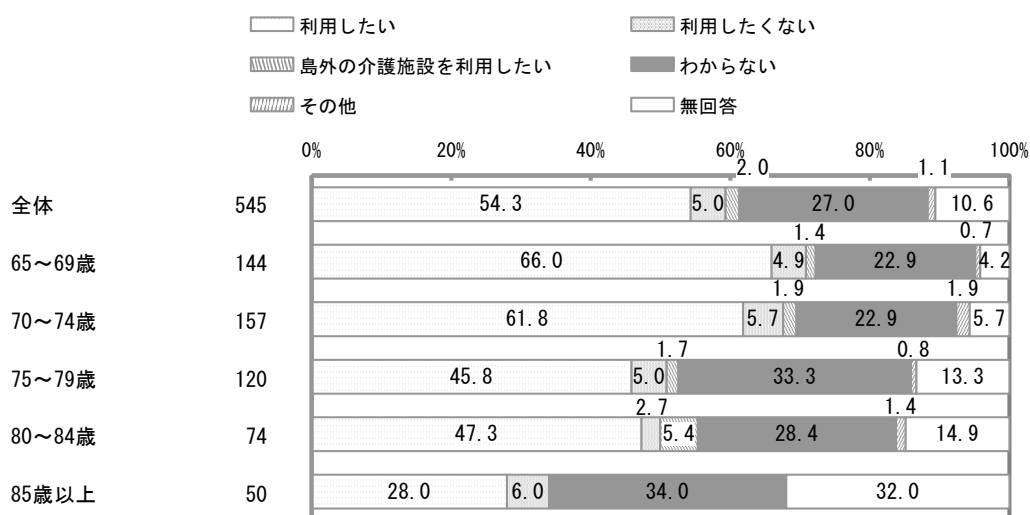


⑦ 介護施設の利用意向（篠島、日間賀島在住者）

篠島、日間賀島に住んでいる人に、介護が必要になった場合、デイサービス等の介護施設があれば利用したいと思うか聞いたところ、545人より回答が得られました。介護施設を「利用したい」は54.3%、「利用したくない」は5.0%、「島外の介護施設を利用したい」は2.0%となっています。なお、「わからない」が27.0%となっています。

年齢別にみると、「利用したい」は「65～69歳」、「70～74歳」で高くなっています。

図 介護施設の利用意向（篠島、日間賀島在住者）



3 第5期計画の評価と課題

高齢者の現状やアンケートによるニーズ調査結果、前計画期間における事業の実施状況と評価を踏まえ、本計画に向けた課題を整理しました。

(1) 地域に密着したケアの充実 ●●●●●●●●●●●●●●

① 訪問介護の充実

- ニーズに充足するだけの訪問介護員（ホームヘルパー）をすぐに確保することが難しい中、現在訪問介護を担っている人の離職を防止するために、介護職員向け研修等の支援策が必要です。
- 訪問介護員（ホームヘルパー）として働くことができる人の掘り起こしや、事業所への登録の促し等、担い手の確保に努めることも必要です。
- 公的サービスとは別に高齢者等の生活支援のサポートを行う生活支援サポーターの育成も課題です。
- 平成29年度の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に向け、施策の検討が必要です。

② 両島の在宅介護サービスの充実

- 両島に住んでいる人のサービス利用希望が高いことから、事業者の参入を働きかける必要があります。

③ 認知症対応型通所介護の充実

- 認知症ケアパスの普及促進を図り、認知症対策の中核として機能させることが必要です。

④ 通所リハビリテーションの充実

- 本町には、サービス提供事業者がないため、事業者の参入を働きかける必要があります。



(2) 認知症高齢者を支えるまちづくり ●●●●●●●●●●

① 認知症に対応したサービスの量的充実

○今後、認知症の高齢者が増えていくことが予想される中、認知症ケアパスを認知症対策の中核として機能させることが必要です。また、認知症高齢者を対象としたサービスの拡充などの働きかけが必要です。

② 認知症への住民の理解促進

○認知症サポーター養成講座を継続的に開催し、認知症の理解者を増やすことで、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援していくことが必要です。また、認知症についての講座の開催や理解の促進等の学習活動を全ての世代に対して行うことが必要です。

③ ケアマネジメントの質の向上

○ケアマネジャー同士で、認知症の判断基準の統一等の勉強会や必要な意見共有などを行い、職員の質の向上、ケアマネジメント適正化に継続的に努めることが必要です。

○認知症に関する知識や理解の向上を計るため、認知症ケアパスを普及促進し、関係者への情報提供や勉強会の開催等を行うことが必要です。

○徘徊する高齢者を支えるために、はいかいネットワークの形成が求められます。



